

# 小島地区ふれあいセンターだより

令和5年3月 第393号 運営委員会発行



愛宕3丁目10-2 電話826-7703



3月の行事予定

※毎週月曜日は休所日です。

開催日	行事名	
1日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時~12時
3日(金)	子育て教室	午前10時~11時30分
7日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時~11時
10日(金)	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時~11時
	愛宕3丁目自治会給食会	
14日(火)	小島中学校区青少年育成協議会	
22日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時~12時
25日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会	午前10時30分~
	小島地区連合自治会連絡会議	

## 「ひな祭り」について

「ひな祭り」は、雛人形を飾り、ちらし寿司やハマグリのお吸い物を食べて、女の子の健やかな成長を願う伝統行事です。その起源は、中国の五節句の一つで、厄払いや邪気祓いを行う風習がある「上巳の節句」が始まりとされています。

江戸幕府は、中国から伝わり、それまで日付が変動していた「上巳の節句」を、3月3日と定め、ひな人形を飾ることから、この日を女の子の日と決めました。

「小島地区ふれあいセンター」では、2月上旬から桃の節句まで1階ロビーに、ひな壇を飾っています。

又、「小島地区ふれあいセンター」では、2月3日(金)に、小島地区「子育て教室」が開催されました。この日の取り組みは、「おひな様を作ろう」でした。

参加した皆さんは、おひな様かざり作りを楽しみました。



じゃがたらお春 (四)

お春の関係者

父・イタリア人航海士ニコラス・マリ

母・洗礼名マリア (三十七歳)

姉・万 (洗礼名マグダレナ、十九歳、一六二五年〜一六九七年)

一六九七年)

父ニコラス・マリは、一六三六年平戸で病死。

母 (マリア) の父は、筑後町小柳理左衛門 (一六四二年筑後町乙名となる) である。

姉・万 (マグダレナ) は、オランダ商館の駐在商務員の下で

働くイタリア人のメーステル・マルテンと一緒に、十五歳

で万吉という男の子を生んだ。マルテンは、商用で台湾に行き

二度と長崎には戻らなかった。

長崎からの追放者は、オランダ人、イギリス人及び女子十一

人で、その中に「お春」が名を連ねている。

筑後町 オランダ人二人、イギリス人一人、子女三人

おらんだひせんで 歳七十 同女房 歳五十

イギリス女房 歳三十七 娘まん 歳十九

娘はる 歳十五 孫万吉 歳三

榎津町

阿蘭陀メイス 歳七十 同女房 歳五十

ウイワン 歳二十九 同女房 歳十六

同倅 歳二

※じゃがたらお春(三)の内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

誤 寛文十二年(一六三七) 正 寛永十四年(一六三七)

誤 寛永十六年(一六四一) 正 寛永十六年(一六三九)

世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」  
○浦上天主堂を始め、12の構成遺産は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として、世界遺産に登録されました。(2018.06.24登録)  
・宣教師不在の中で、はぐくまれた日本独自の宗教的伝統  
・神道や仏教などの日本の伝統的宗教や、一般社会と関わりながら、信仰を続けた潜伏キリシタンの伝統の証しとなる遺産群である。  
・キリシタンが「潜伏」したきっかけや、信仰の実践と共同体の維持の為に、ひそかに行なった様々な試み。そして、宣教師との接触により転機を迎え、「潜伏」が終わりを迎えるまでの歴史を物語る12の構成遺産からなっています。  
・これらが、長崎と天草地方の半島や離島に点在しているのは、大航海時代にキリスト教が伝わったアジアの東端にある日本列島の中で、最も集中的に宣教が行なわれた場所だからである。とされています。

【構成遺産12ヶ所】

- (1) 原城跡
- (2) 平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)
- (3) 平戸の聖地と集落(中江ノ島)
- (4) 天草の崎津集落
- (5) 外海の出津集落
- (6) 外海の大野集落
- (7) 黒島の集落
- (8) 野崎島の集落
- (9) 頭ヶ島の集落
- (10) 久賀島の集落
- (11) 奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)
- (12) 大浦天主堂

次は、南山手界限(グラバー園①)

南山手界限(グラバー園①)

○グラバー園(入園料が必要です)

・大浦天主堂を出て左手に坂を進むと、左側にグラバー園入口があります。昭和32年(1957)旧グラバー住宅が三菱重工業(株)長崎造船所創立100周年を記念し長崎へ寄贈され、昭和33年(1958)市の観光施設(グラバー邸)としてオープンしました。昭和49年(1974)に洋館等の買い取り、移築、整備を進め、グラバー園として開園しました。

○公衆電話ボックス。階段を上ると踊り場があり、そこに明治33年(1900)に東京の京橋のたもとに出来た日本初の公衆電話(当時は自動電話と言っています)ボックスを復元しています。

○動く歩道。入場券発売所(第1ゲート)を抜けると、動く歩道で移動します。右手にグラバー住宅が見えますが、見学順路で最後に見学します。

○水道共用栓。動く歩道の乗り継ぎ場所の右側にあります。

明治22年(1891)に横浜、函館に次いで長崎市内に近代水道が創設されました。この水道共用栓は市内に約35箇所あり、横のポタンを押すと、人形の口から水が出るようになっていきます。浜の町、旧岡政前交差点に設置されていた写真があります。

○旧三菱第2ドックハウス。グラバー園の一番の高台にあります。明治29年(1896)三菱造船所第2ドックのそばに建てられ、昭和49年に移築されました。船の修理時の船員の休憩・宿泊所として利用されていました。2階のベランダから長崎の港や街並みが一望できます。

※女神大橋。平成12年12月11日竣工。愛称「ヴィナス・ウイング」(公募) 全長1,289m、橋梁部分480m、海面よりの高さ65m。(クインメリー号最高高さ62m)

※稻佐山333m、(函館山334m、東京タワー333m)・日本三大夜景、函館、神戸、長崎・世界新三大夜景、香港、長崎、モナコ(2012・10月)

※前庭の左側には「西洋砲術の祖」高島秋帆の指導で鉄砲鍛冶の野川清造が造ったといわれる和太砲が置かれています。次は、南山手界限(グラバー園②)

ふれあい俳壇

寒の海確と注連張る夫婦岩 永福倫子

木洩れ日の方へ片寄る寒の鯉 大久保俊子

厨事出刃に委ねて寒の月 許斐洋子

葉隠れに紅をふかめる寒椿 城臺文江

巨樹巨木燦と立ちゐる凍る道 園田洋子

初風呂は里に古りにし共同温泉 田中怜子

寒の雨ウォークラリーのゼッケンに 田原より子

触ることなかれ寡黙の寒椿 辻原晩夏

一本の水の棒たり冬噴水 並川友子

水仙や岬は風の棲む処 簗先四十三

花八手句碑詠み解くも初句会 松永美記子

ばらもん凧舞ふ菩提寺の天井絵 村川雅代

風捉ふ鳶高々と寒の空 山本松子

※ふれあい俳壇は、小島地区ふれあいセンターで活動されているグループ(若芽の会・湾長崎支部岬会)の皆さんの作品です。

## 〈新着図書のご案内〉



	書 籍 名	著 者 名	出 版 社
一 般 図 書	90日で「貯める力」をつける本	横山 光昭	ディスカヴァー・トゥエンティワン
	考えよ、問いかけよ	黒川 清	毎日新聞出版
	タクジョ!	小野寺 史宜	実業之日本社
	月の立つ林で	青山美智子	ポプラ社
	いちばんわかりやすい確定申告 2023年版	土屋 裕昭	ダイヤモンド社
	寿命が尽きる2年前	久坂部 羊	幻冬舎
	死活の基本	高尾 紳路	池田書店
	黒石	大沢 在昌	光文社
	こりずにわるい食べもの	千早 茜	ホーム社
	魚をさばく	井上 武	ホビージャパン
	超造形折り紙	川畑 文昭	誠文堂新光社
	映画でひもとく英語学	倉田 誠	くろしお出版
	何もしないほうが得な日本	太田 肇	PHP 研究所
	鎌倉駅徒歩8分、空室あり	越智 月子	幻冬舎
	闘え! ミス・パーフェクト	横関 大	幻冬舎
	新説家康と三方原合戦	平山 優	NHK 出版
	栗と嘘の季節	米澤 穂信	集英社
	話し方の正解	桐生 稔	かんき出版
	世界は光であふれてルンです	—	バイインターナショナル
	南海ちゃんの新しいお仕事	新井 素子	角川春樹事務所
児 童 図 書	マンガでわかる! 10才までに覚えたい百人一首	高濱 正伸	永岡書店
	めんめんばあ	はせがわ せつこ	福音館書店
	ずかん貝のからだ	清水 洋美	技術評論社
	ノンタンがないいいなーい	キヨノ サチコ	偕成社
	じぶんでよめるのりものずかん	成美堂出版編集部	成美堂出版
	わんぱくだんのなつまつり	ゆきの ゆみこ	ひさかたチャイルド
	トロリーナとペルラ	ドナテッラ・ヅィリオット	岩波書店
	いちごハウスのおくりもの	村中 李衣	世界文化ブックス
	1さつまると! くすりのひみつ	安部 恵	岩崎書店
ここにいたい! あっちへいきたい!	レオ レオニ	好学社	